

原子力発電・核燃料サイクル勉強会

(軽水炉・高速炉サイクル)

平成24年2月2日(木)

配布資料

# 「ステップ1の技術選択肢の組合せ」の 設定に関するコメント

- 「ステップ2の検討シナリオに比較表」の内容を埋める前に、「ステップ1の技術選択肢の組合せ」をしっかり議論すべき。2/2の勉強会での議論はそこに集中すべきではないか(先に表を埋めても作業が無駄になる)。
- 「ステップ1の技術選択肢の組合せ」に対するコメントは以下の通り。
  - ✓ 「短中期」を10～20年とするのは、非現実的。将来に向けた判断をもっと早く実施しないと後戻りできない選択肢もある。例えば、FBR導入の判断から考えれば、0～数年とすべき。
  - ✓ 短中期の選択肢と長期の選択肢の整合性の議論が重要。その点をしっかり議論できる表を作成すべきではないか。
  - ✓ 「ステップ1の技術選択肢の組合せ(案)」では、現実的でない組合せに○が付いている。以下、改訂案を参照のこと。

# 選択肢の組合せ

- ・P1にコメントした通り、10～20年は長すぎる。
- ・短中期的には、RRPしか稼働しないので、「LWR-MOX」と「LWR-MOX限定」は同一の選択肢
- ・短中期的には、「FBR」も「ワンスルー（直接処分）」も実用化されておらず、選択肢から除くべき。
- ・よって、短中期的には、RRP有り無しとの2つのオプションに絞られるし、オプション数が少ない方が議論しやすい。

ようなプロジェクト／開発が必要な組合せをグループ

長期的に中間貯蔵するシナリオは無意味なので削除。

		長期技術選択肢					
		LWR-MOX グループ2	LWR-MOX 限定	LWR-FR グループ1	FBR	ワンス スルー グループ3	当面貯蔵
短 中 期 選 択 肢 0 ～ 数 年 程 度	<del>LWR-MOX</del>	⊖ シナリオ2	⊖	⊖	⊖ シナリオ1	⊖	⊖
	LWR-六ヶ所 再処理あり	○ シナリオ2	○	○	○ シナリオ1	○ シナリオ3	⊖ シナリオ3
	<del>LWR-FR</del>	✕	✕	✕	✕	✕	✕
	<del>FBR</del>	✕	✕	✕	✕	✕	✕
	<del>ワンス スルー</del>	✕	✕	✕	✕	⊖ シナリオ6	✕
	LWR-六ヶ所 再処理なし (当面貯蔵)	×	×	○	○ シナリオ4	○ シナリオ5	⊖ シナリオ5

一旦RRPをやめて、L再を復活するのは非現実的

新たに代表的なシナリオとして設定。

## 「ステップ2の検討シナリオ案 評価表」へのコメント

- 「FBR/FR 開発との組合せ」の欄は、以下の3つの記述のどれかが入ることになります。ただし、現状設定されているシナリオ1～6が、どのような時期に、どのような判断をすることを意図しているか良く理解できていないので、それぞれのシナリオにどの記述を入れるのが適切か、判断しかねます。
- ① 従来の計画通りの規模で開発を継続し、多少開発の遅れがあったとしても、実証炉を経て、2050年頃実用炉の導入を目指す。
- ② 現路線から政策変更した場合でも、直ぐに復帰できるレベルで開発を継続し、産業界の技術力を維持（但し、目標が不明確のまま長期に亘って技術力を維持することは困難：数年が限度）
- ③ 開発は行わず、研究機関での基礎・基盤的研究のみを継続し、産業界の技術維持は行わない。将来、高速炉を建設する場合は、海外から技術を導入する。

以上